

LAN 接続型 I/O ユニット G バージョンの識別方法

GバージョンのLANI/Oと標準のLANI/Oは、本体化粧シートの表記内容では識別できないため、以下の方法で識別してください。

1. 梱包箱のラベル表記

梱包箱の商品ラベルに (G) 付きの型番と「Gバージョン」が印字されています。

Gバージョンのラベル例



標準バージョンのラベル例



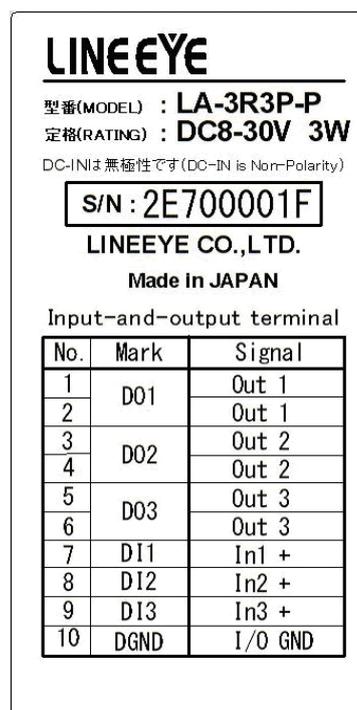
2. 製品本体の定格ラベルの型番

定格ラベル（製品の裏面に貼付）の型番は、Gバージョンの場合、末尾が(G)になります。

Gバージョンの定格ラベル例



標準バージョンの定格ラベル例

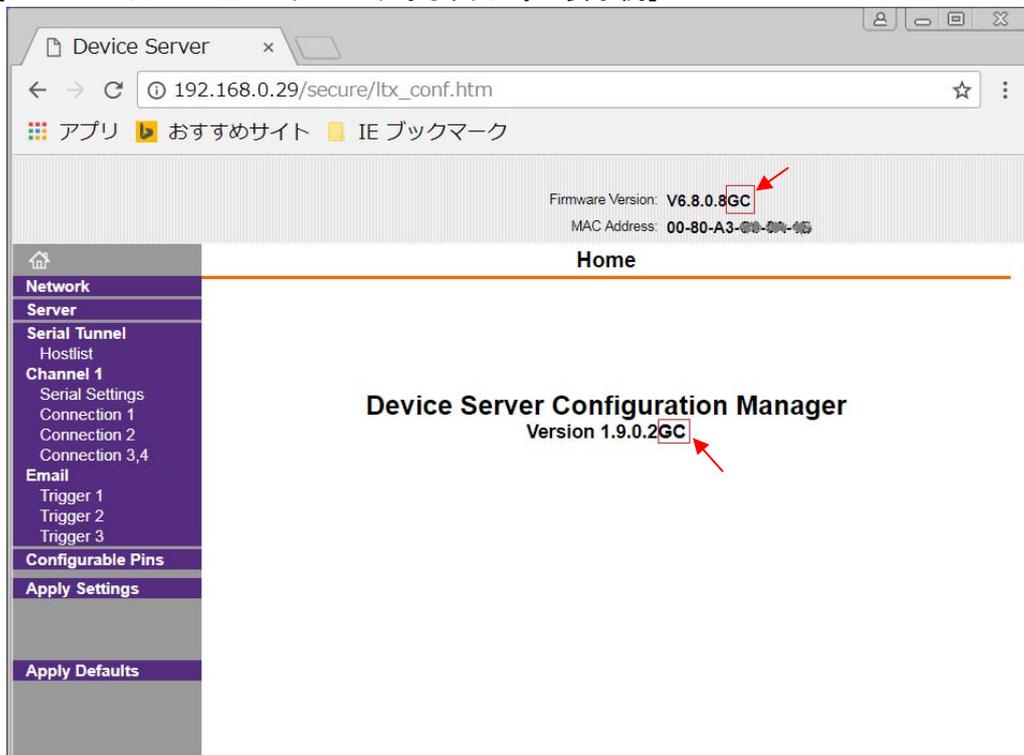


3. 運用時の設定ソフトの表示

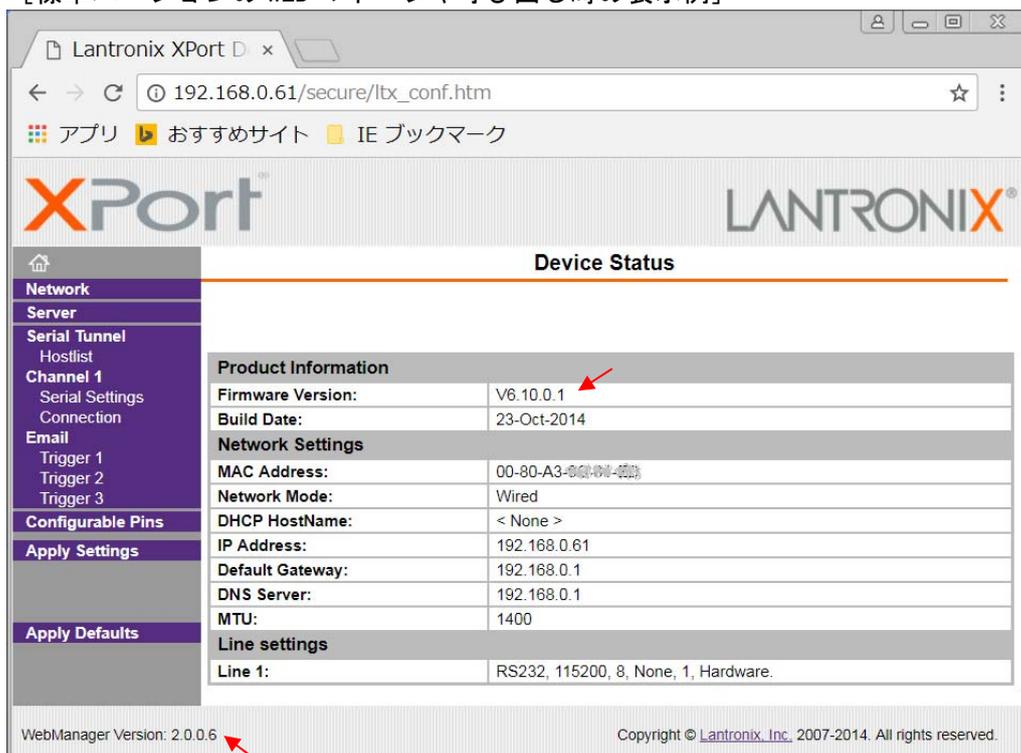
- LAN ネットワークに接続後は、WEB マネージャの呼び出し時の表示で判別できます。

Gバージョンは、ファームウェアのバージョン表示 (Firmware Version:) や WEB マネージャのバージョン表示 (Device Server Configuration Manager Version) の末尾が GC になっています。

[Gバージョンの WEB マネージャ呼び出し時の表示例]



[標準バージョンの WEB マネージャ呼び出し時の表示例]



- ・ 設定ソフト LANIOset の利用時は、ソフト側で標準バージョンと G バージョンが自動的に判別され、G バージョンの機能（認証メールや 1 対 N 接続）に必要な設定項目が表示されます。

G バージョンのメールアラート（認証メール対応）設定画面例

メールアラート設定

SMTPサーバアドレス:

SMTPサーバポート番号:

SMTP-AUTH認証あり

認証ユーザー名:

認証パスワード:

送信元メールアドレス:

送信先メールアドレス1:

送信先メールアドレス2:

メッセージ:

DI メールアラート設定

DI1 有効

DI2 有効

DI3 有効

OK

キャンセル

標準バージョンのメールアラート設定画面例

メールアラート設定

SMTPサーバアドレス:

SMTPサーバポート番号:

送信元メールアドレス:

送信先メールアドレス1:

送信先メールアドレス2:

メッセージ:

DI メールアラート設定

DI1 有効

DI2 有効

DI3 有効

OK

キャンセル